



から取り組む

健康事業所宣言 取組事例集



協会けんぽ京都支部で「健康事業所宣言」をされている企業様に、健康づくりに関する取り組みの背景や事例等のお話を伺いましたので、協会けんぽ京都支部にご加入の皆様にご紹介させていただきます。

これから健康経営®に取り組んでいきたいと考える事業所様にもご参考としていただけます。

すでに取り組みをすすめている事業所様も、本事例集を参考に、ぜひできることからステップアップを目指してみたいはいかがでしょうか。

過去の取組事例集はこちらから



2021年度版



2022年度版



全国健康保険協会 京都支部
協会けんぽ

「健康経営®」とは

従業員の健康を重要な経営資源と捉え、積極的に従業員の健康づくりに取り組むことで会社の生産性向上を目指す経営手法のことです。
※「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です

H P ● <https://www.kyoto-kankyo.net/>
所在地 ● 京都市伏見区横大路千両松町126

業 種 ● 産業廃棄物処理業
従業員数 ● 143名 (R5.8現在)

2023
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

一 なぜ、いまわたしたちには健康経営が必要なのか一 現状把握とその対策としての取り組み

京都環境保全公社は産業廃棄物の適正処理に向けて、コンサルティング・分析、収集運搬、選別・破碎、リサイクル、焼却、管理型埋立（最終処分場）のトータルシステムを確立しており、常に高い技術と知識を追及し、脱炭素社会および循環型社会の実現に向けて日々従業員一丸となって取り組んでいます。

各セクション毎に深い専門性が必要となり、一人一人の活躍が重要となる当社において、「人」が価値創出の最大のエンジン=資本であるとの基本認識のもと社員が安心して働き、心身ともに健康で高いモチベーションを持ち、パフォーマンスを最大発揮できる経営を実現させるため、2018年度より健康経営に取り組み始めました。

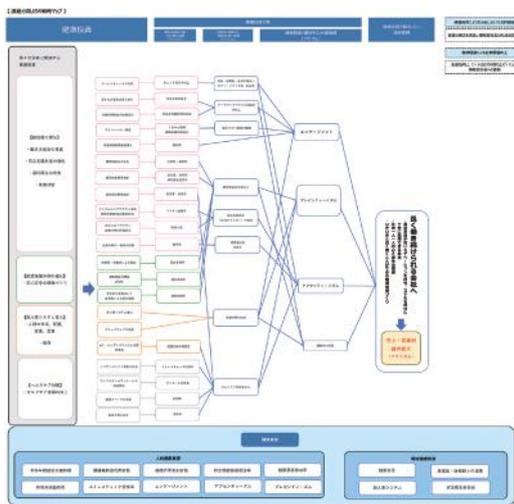
取組当初制定した健康補助金は福利厚生として社員からとても喜ばれています。通常健康診断から人間ドックへ切り替えた社員へは健診休暇を付与し、40歳・50歳の節目年齢の社員には人間ドック受診費用を全額会社で負担しています。その他にも歯科・眼科検診・がん検査・精密検査・血液ドック等の受診費用補助制度があり、がんや緑内障等の早期発見に役立っています。

今では、社員自ら年に1回の定期健康診断を自分自身の身体と向き合う重要な機会ととらえていて、健康経営担当者へ「昨年よりも数値が良くなった」「こんな症状が気になっているので保健師に相談したい」等々の声が上がってきており、社員の健康意識の向上を感じています。

また、健康経営を実現させるには組織として取り組むことが重要ととらえており、PDCAを効果的に実践するため健康講座やアンケートを利用し社員からの声を集め計画に織り込み、戦略マップを利用し経営陣からの承認を受け年度計画を進めます。

社員からの声があり実現した一例として、食品自動販売機の導入を実施いたしました。夜勤明けの社員への提供等により朝食欠食者減少の効果がみられました。人気商品はすぐに完売してしまうのが課題となっているほど好評です。

健康経営は福利厚生だけでなく、多様な働き方への取り組み、適切な労働時間管理等、管理職や社員の協力も必要不可欠となります。会社全体で全社員がいきいきと長く働くことができる職場環境づくりに積極的に取り組んでいけるよう健康経営を推進していきます。



一 最後に 一

健康経営を通し、社員の健康の維持・向上が促進されることで、会社の生産性向上や持続的成長に繋がり、ひいては全社員の健康寿命を延ばし、活力に満ちた人生を送ることができるよう、健康推進活動を促進していきたいと考えております。貴社も健康経営をはじめてみてはいかがでしょうか。



多面的な健康づくり推進により、客観的な評価にも繋がる

- 健康づくりの取り組みが評価され、経済産業省「健康経営優良法人（ホワイト500）」に4年連続で認定されました
- 有給休暇の取得奨励・育児介護休業制度が評価され「ワーク・ライフ・バランス認証企業」に認定されました



H P ● <http://kyoto.0152.jp/>
所在地 ● 京都府宇治市槇島町大川原30番1

業 種 ● 一般旅客自動車運送事業（タクシー業）
従業員数 ● 94名（R5.7現在）



健康経営に取り組むきっかけ

事業用自動車の乗務員の高齢化に伴い、今後益々健康経営が注目されていくと思います。当営業所では第一交通産業グループにていち早く健康経営を取り入れ、健康起因事故の撲滅に取り組み、従業員全員が健康で働き続けられる環境づくりにより、運転業務の生産性を向上させようと考えました。

組織の体制

衛生管理者、産業医、安全管理者からの指導監修により、毎月の全員懇談会を行い、健康経営アドバイザーからの健康アドバイスと仕事中座って出来る体操の実演などを行い、健康経営の活動を行っています。

健康課題の内容

健康状態に関わらず全従業員に対する疾病の発生予防から、2022年の健康診断の結果により全従業員94人中の27人がメタボリックシンドロームのリスクが高いことが判明。

数値目標の内容と期限

●数値目標の内容

BMI 25 を超える従業員を 15 名以下とする。

●目標値（現状値→目標値 / 達成年度）

現状 27 名 → 目標 15 名（令和5年度の健康診断）



推進計画（主な取組）

- ①研修及び協会けんぽの特定保健指導を通じて従業員の運動習慣、食習慣を向上させる。
- ②京都府・協会けんぽのウォーキングイベントへ参加し、楽しんで出来る運動習慣の促進を促す。
- ③協会けんぽから糖化年齢測定器、インボディ（体組成計）測定器の利用から体調管理の数値化。



H P ● <https://www.rakuwa.or.jp/>
所在地 ● 京都市山科区音羽八ノ坪51-4

業 種 ● 医療・介護
従業員数 ● 6,000名（R5.4現在）



健康経営に取り組むきっかけ

初代理事長の「将来の社会の構造とニーズに応じて『延寿楽生』の理念のもと、「医療」「介護」「健康・保育」「教育・研究」の分野で質の高いサービスを提供するため努力を重ねています。これらを持続的に行うには、職員が健康で生き生きと働き続けられる環境を整備し、職員の健康増進と職場の活力向上を組織一体となって実現できるように取り組む必要があると考え、洛和会健康経営宣言 ～Well-being for all～を发出了しました。

組織の体制

2023年4月に専任部署として洛和会健康経営推進室を設置！

矢野理事長を健康経営最高責任者として、健康経営担当者が実務をしています。また、当会専任の公認心理師が行うメンタルサポートや、管理栄養士・健康運動指導士・保健師とも連携し、カラダのサポートも行っています。

健康課題の内容

喫煙は、喫煙者本人はもちろん、副流煙による二次喫煙、煙がなくなったあとの服や床・壁などに残留した有害物質を吸入する三次喫煙による健康被害も報告されています。当会では職員やその家族、病院の患者さんや施設のご利用者さんが、タバコによる被害を受けることなく安心して暮らせるようにと職員の卒煙を考えました。



理事長健康経営推進会議

数値目標の内容と期限

●数値目標の内容

2023年5月に『洛和会卒煙宣言』を告知。
喫煙者に合わせた卒煙サポートを実施し喫煙者ゼロに。

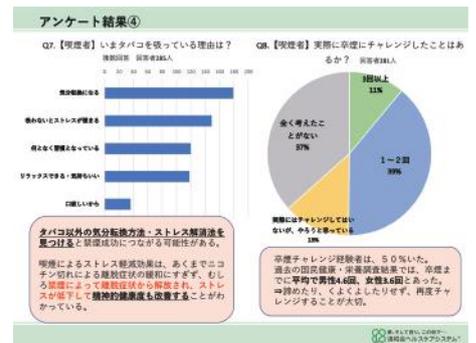
●目標値(現状値→目標値/達成年度)

2022年度末 806人 → 2025年度末 喫煙者ゼロ



推進計画(主な取組)

- まずは全職員にタバコに関する意識調査(アンケート)を実施し、非喫煙者の多くがタバコを不快に感じていること、卒煙者のタバコを辞めた理由・方法、喫煙者の半数が過去に卒煙チャレンジ(卒煙失敗)したことがあるなど、現状を把握し理事長健康経営推進会議や社内回覧で情報共有しました。
- 喫煙者に対し、卒煙意向調査を実施し、卒煙の意思や時期、手段などを集計し、データベースを作成しました。
- 対策として、全ての部署に禁煙ポスターを掲示、また自力で卒煙する職員に禁煙セラピー本の貸し出しや、法人内の禁煙外来へ案内などを実施しています。
- 今後は、卒煙サポーター制度の導入も検討しており、喫煙者を周りの職員が応援し、みなで卒煙にむかって取り組む計画をしています。



職員アンケートの集計結果 抜粋

その他の健康課題の取り組み事例

メンタルサポート室を社内外に設置、外来受診時の診療費補助制度、二次健診受診時の特別休暇付与、社内運動イベントの開催など



洛和会ヘルスケアシステムキャラクターの助

株式会社 仲啓

H P ● <https://nakakei.co.jp>

所在地 ● 京都市南区吉祥院石原京道町6番地

業 種 ● 専門商社

従業員数 ● 46名 (R5.6現在)

健康経営に取り組むきっかけ

経営者オーナーの高い健康意識の下、所属する全国健康保険協会京都支部に対し2017年に「健康事業所宣言」を行いました。若手かつ優秀な人材の確保には「健康経営優良法人」の認定評価が不可欠と考え、これまでの取り組みや運用の実態をありのまま申請。次なるはプライト500の認定を目標に、社員の健康と安心そして健全な経営のため会社が主体となる取り組みを推進しています。

組織の体制

男女の健康保険委員の所属する管理部が中心となって全社全体の活動のサポートと進捗管理を実施。

各拠点の健康づくり担当者とともに経営者オーナーが全体をバックアップ。

健康課題の内容

「カルテ」を知り「立ち位置」を知り「健康」を極める

協会けんぽによる「事業所健康度カルテ 2021.6」から

1. メタボリックシンドロームの該当 13.6% (京都支部平均 14.5% に対し)
2. 生活習慣要改善者の割合から飲酒習慣 40.9% (京都支部平均 27.9% に対し)
3. 生活習慣要改善者の割合から睡眠習慣 54.6% (京都支部平均 63.0% に対し)

数値目標の内容と期限

●数値目標の内容

1. 適度な運動・バランスのとれた食生活を通じ内臓脂肪増加による症候を減らすこと。
2. 過度の飲酒を律し休肝日を設ける。
3. 夜更かしを控え規則正しく睡眠を確保

●目標値 (現状値→目標値 / 達成年度)

現状	13.6%	➡	目標	13.0% (令和4年度)
現状	40.9%	➡	目標	33.0% (令和4年度)
現状	54.6%	➡	目標	63.0% (令和4年度)



推進計画 (主な取組)

- ウォーキングイベント「ある古っ都」への参加
..... ポイント獲得でイベント参加啓蒙
- 同業者組合青年部との情報交換
..... 実践力ある青年部隊による意識向上策
- 健康保険委員によるセミナー開催 (朝礼含) ... 全社全体の意識啓蒙
- きょうと健康づくり実践企業認定取得にむけた活動

取組結果 (効果検証)

1. 目標 13.0 に対し実績 23.7 ... 評価 B から E ヘダウン ▼
 2. 目標 33.0 に対し実績 47.4 ... 評価 D から E ヘダウン ▼
 3. 目標 63.0 に対し実績 44.7 ... 評価 C から D ヘダウン ▼
- (いずれも
2022.6
実績分を確認)

健康状態の特徴と現状を把握し、経営者オーナーをはじめ社員間で「健康」に対する危機意識が高まり改善のための健康づくりに真剣に取り組んでいます。



H P ● <https://alkyoto.jp/>
所在地 ● 京都市右京区太秦松本町14番地

業 種 ● 製造・卸売業
従業員数 ● 46名 (R5.7現在)

健康経営に取り組むきっかけ

少数の人員の為、病気やケガなどで長期間お休みをされる方が発生すると他の方への負担が大きいと考えたことからでした。

組織の体制

- 協会けんぽの「健康保険委員」を2名登録
- 管理部を中心に健康づくり事業を推進

主な取組

取組 1

協会けんぽ様より各種測定器（血圧測定器 糖化測定器 INBODY 等）をお借りして定期的に社員の皆様には健康に関する高い意識を保って頂くようにしています。



取組 3

夏場の外での作業対策としては空調服の支給、工場扇、スポットエアコンの設置、各種飲料水（ミネラルウォーター・スポーツドリンク）の無償提供し熱中症対策を行っています。



取組 2

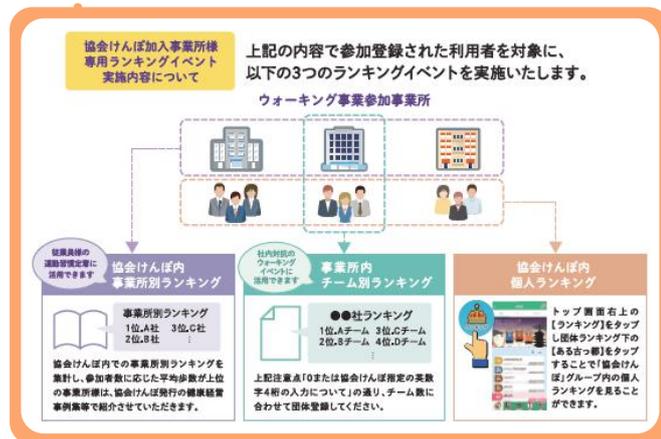
アプリを使った京都府ウォーキングイベント「ある古っ都」に参加し、歩く習慣・意識の高まりだけでなく、チームを組んで取り組んだことでコミュニケーションの向上も図ることができました。



京都府ウォーキングアプリ「ある古っ都」
(令和4年度チラシ)

取組 4

容器運搬業務に従事するドライバーの方には、より多くの休憩時間を取って頂けるように定時の就業時間に拘らず、業務終了後はいつでも退社していただけるようにしております。



H P ● <https://osadano-gas.co.jp/>
所在地 ● 福知山市長田野町2丁目19番地

業 種 ● ガス事業
従業員数 ● 29名 (R5.7現在)

健康経営に取り組むきっかけ

2021年に地元のアドバイザー企業様より健康経営計画のご案内を頂き、まずは社員に意識・行動調査のアンケートを行いました。

福利厚生は充実していると認識していましたが、社員の健康状態や満足度

を見える化してみると、改善の余地があることが分かりました。

健康経営計画は自社の現状を客観視できる良い機会であり、替えの効かない社員に健康で長く働いてもらえる事は会社にとっても重要な課題であると再認識できました。

組織の体制

社長の指揮のもと、総務部の担当者が実務を行っています。

健康経営アドバイザーからの助言により、円滑に計画を進める事ができています。

主な取組

【これまでの取組】

- ・ 2021年
「京から取り組む健康事業所宣言」 エントリー
- ・ 健康経営優良法人 2022・2023 2年連続認定
- ・ 2022年度の取組テーマ
「健康診断結果の有効活用と精密検査受診率 UP」

【2023年度の取組】

～テーマ 「疾病予防と早期発見・早期治療」

- ①意識・行動調査アンケートの定点観測と分析（3年目）
フィードバックと改善のためのセミナー
- ②協会けんぽ健康講座 テーマ「運動推進」
InBody 測定実施（年2回）
- ③オリジナル講座「本気のラジオ体操」実施
- ④健康診断要精密検査対象者への受診勧奨
・ 1回目の検査費用を会社が補助
・ 受診を忘れていた社員の自宅へ受診勧奨案内状の送付
- ⑤福知山市オリジナルアプリ
「福知山 KENPOS」の社内紹介



取組結果(効果検証)

要精密検査対象者の受診率が低いことが課題でした。

取組前は半数に満たなかった受診率が、取組初年度は82%まで上がり、現在は「行くのが当たり前」になりました。早期発見・早期治療につながった事例もあり、効果を実感しています。社員にも、健康経営の意識が徐々に根付いてきています。

H P ● <https://www.iron-ito.co.jp>
所在地 ● 京都市南区吉祥院石原上川原町6

業 種 ● 金属リサイクル
従業員数 ● 41名（R5.7現在）

健康経営に取り組むきっかけ

近代、高齢化問題が進む中、当社でも事務職、現場作業員を含め従業員の現在平均年齢が43.3歳であります。

老若男女問わず、時には過酷な作業環境が強いられています。

その為、これを機に社内では、安全且つ健康が第一と考えております。

最近では、社員とその家族の健康推進活動にも積極的に取り組んでいます。

組織の体制

伊藤商店では労働安全衛生「ISO 45001」を取得しており、いかなる場合においても、安全が最優先であることを謳っています。

当社の基本理念でもあります「全社員が健康で事故撲滅に妥協しない企業を目指す。」を全従業員が朝礼で唱和しています。

全社員が活躍できる労働環境整備を確保しています。

- ① 残業時間の削減
- ② 働き方改革の実施など

主な取組

- ・SDGs「健康と福祉」の活動をしています。
「未来都市・モデル事業選定都市 舞鶴 担い手連携フォーラム 2023」にも参加させていただきました。持続可能な健康推進活動に今後も力を入れて参ります。
- ・社内レクリエーション活動ゴルフクラブの結成、新工場の舞鶴で自社農園でのさつまいも作りによる地域の皆様との交流を兼ねての農作業から生まれるコミュニケーションや個々のストレスの低減及び自身の健康管理に繋げて役立てればと思っています。
- ・朝礼ではおなかの中から大声で「ワッハッハー！」で一日のスタートをきります。
「笑顔であいさつ」をモットーに全社員が意識をして、取り組んでいます。
- ・協会けんぽさんによる健康機器の無料レンタルの活用で健康推移の自己管理の向上を行っています。
さらに、最近では「線虫によるガンの早期発見診断」の活用を行っています。がんは年齢に関わらず、罹患する可能性があります。当社では今後も若い世代への啓蒙活動にも力を入れて取り組んでまいります。



朝礼の様子



SDGs 取組企業発表会の様子



ゴルフクラブ



さつまいも畑



線虫検査

H P ● autobacs-cs.com
所在地 ● 京都府城陽市平川西六反51-1

業 種 ● 自動車用品小売・車検整備
従業員数 ● 110名（R5.6現在）

健康経営に取り組むきっかけ

当社では「従業員は企業の財産であり、人との関わりを最も大切に」という経営理念の下、従来より従業員の「健康増進」や「働き方改革」に取り組んで参りました。2019年にお取引のある保険会社様から健康経営をご紹介いただいた際、現在取り組んでいることの多くが健康経

営に繋がるものであることを改めて知り、また従業員の平均年齢が年々上昇する中、生活習慣病や高齢化などへの対策強化の必要性を感じ、2020年より健康経営優良法人の認定に向けて活動をスタートしました。

組織の体制

総務が健康診断などの健康管理を実施しています。

京都南地域産業保健センターを活用し、医師による意見聴取を行っています。

健康推進リーダーを設置し、喫煙率などの管理をしています。

主な取組

・健康診断の受診

35歳超の従業員はアルバイトも含めて全員が毎年付加健診を受診しています。健診後の二次健診や保健指導は全員受診実現に向け、対象者には100%声掛けを実施しています。

・予防接種

冬季はインフルエンザの予防として、医師による各店舗への訪問接種を企画し、病院に行かなくても接種できる環境を整えています。また、接種希望者はアルバイトも含めて全員が自己負担なしで予防接種を受けられるようにしています。



・特保ドリンクの導入

飲料自動販売機には特保の飲料を導入し、身近な飲み物から食生活改善の意識付けを図っています。



・労務管理や労働環境の見直し

労務管理や労働環境の見直しにより、生産性の向上、時間外労働の削減を図っています。また、管理職には定期的にハラスメント講座を受講開講してもらっています。



・レクリエーションの実施

隔年で慰安旅行を実施しており、旅行のない年は近隣の体育館を借りてスポーツイベント等を実施し、店舗間、従業員間のコミュニケーションを図っています。



H P ● <https://www.johnan.com/>
所在地 ● 京都府宇治市大久保町成手1-28

業 種 ● 電子機器・精密機械
従業員数 ● 123名 (R5.7現在)



健康経営に取り組むきっかけ

2014年に「きょうと健康づくり実践企業認証制度」に申請し適任書を受けたことが契機となりました。外部の視点から弊社の取り組みを客観視し、今までの産業保健の諸活動を体系的に見える化し、経年観察と評価を積み上げることで継続性と促進力が生まれました。グループ本社への健康経営の浸透と展開を願っています。

組織の体制 特定保健指導実施に結びつけている手法・工夫・苦労

弊社では2005年より健康相談室が社内設置され、公認心理師、臨床心理士、精神保健福祉士、第1種衛生管理者、キャリアコンサルタント2級技能士、シニア産業カウンセラーの有資格者である健康相談室専任カウンセラーが勤務し、産業医とのコーディネート、安全衛生委員会と連携した健康管理、労働衛生教育の立案、実施などをおこなってきました。

また月に1度『健康相談室ニュース』を発刊し、健康づくりに関する情報を従業員の皆様へ発信しています。健康診断の結果についても、健康相談室スタッフが検査結果を把握し、要精密検査者へは個別に再検査受診の案内(手紙、メール)をお渡しする、産業医面談を実施する、など普段から従業員の健康に対する意識を高める活動を続けています。特定保健指導の実施についても、『自らの健康管理』という意識を従業員の方にお持ちいただく事で、高い実施率に結び付けているのだと思います。また、特定保健指導の実施は、業務時間内に実施できております。『従業員の健康第一』という会社の姿勢が従業員の皆様にも伝わっている結果ではないかと思えます。実施については、健康推進担当者がリストを元に時間割を設定し、直接またはWEBでの面談を実施しています。事前に、安全衛生委員会で特定保健指導が実施される事や特定保健指導の目的などを管理監督者に説明する機会がある事も、実施率向上に結び付けていると思います。

協会けんぽの健康講座・健康測定器の利用と、社内(従業員様)の声

健康意識を高める活動の一つとして、協会けんぽ様の健康測定器レンタルを利用しています。2022年は糖化度測定器をレンタルし、昼休憩の時間を利用して、希望者の方にご利用頂きました。



大変好評で、多くの方にご利用頂き、ご自身の身体について向き合う機会を持つことが出来ました。

3日間で累計 100名以上の利用がありました!

また、過去には協会けんぽの『健康講座』で運動指導士によるストレッチの実施(2017年)を利用したこともあります。

その他、計画・各事業場での共有・復職支援制度等々の取り組み

- ・毎朝のラジオ体操(第一)実施
- ・4階建て社屋内の昇降は全て階段利用を基本としている
- ・産業医による講演『女性特有がんについて～早期発見のためにできる事～』実施
- ・新緑ウォーキング(5月)の実施 第9回 国際会館周辺 ※家族で参加できるイベント
- ・植樹イベント(11月)の実施 木津川運動公園 「森守クラブ城陽」と共働
- ・1か月以上の休職者の復職時には『復職プログラム』を実施。主治医、産業医、人事、所属長、健康相談室で連携を取り、健康の回復と保持増進をサポート
- ・建屋内完全禁煙実施
- ・社用車 全車禁煙
- ・1食500～600kcalのヘルシーメニュー導入
- ・食堂設置の自動販売機に「機能性表示食品」「特定保健用食品」導入



課題と感じている事

- ・従業員の高齢化、再雇用者などが増え、健康面でリスクを抱えている方が増えている中で、健康診断の結果からは予測できない突然の発作などの発生リスクが増えています。いざという時の初動について、あらかじめ想定しておくことで適切な対応が可能になる為、備えが必要と感じています。
- ・ここ数年、喫煙者が増加傾向にあります。禁煙を気軽に挑戦できるような仕組み、仕掛けが必要です。



京都府「きょうと健康づくり実践企業」認証制度のご案内



随時
受付中

京都府では、がん検診受診率の向上や健康づくり活動に取り組む企業を「きょうと健康づくり実践企業」として認証しています。大切な従業員の健康を守り、働く世代の健康づくりを推進しましょう。



認証までの流れ



認証企業のメリット

- ・従業員の健康づくりに積極的に取り組む健康経営企業として、企業HP、製品、名刺、広告等、広くアピールできます。(認証賞、ステッカー、ロゴデータが送られます)
- ・認証企業を京都府HP等で、広く府民にPRします。

認証基準

- ・健診、保健指導、がん検診、健康づくりに関する取り組み等、6項目のうち4つ以上の項目に該当していること
 - ・受動喫煙防止対策の措置を講じていること
 - ・過去5年間に重大悪質な事案により法令に違反し、処分等を受けたことがないこと
- 詳しくは京都府HPよりご確認ください

企業の取り組み

- ・がん検診・特定健診受診促進に向けた取り組み
- ・健康づくりの取り組み
- ・受動喫煙防止対策



手続き方法

申請様式をそろえ、持参・郵送にて京都府健康対策課または京都府保健所に提出してください。
(京都市内の事業所については、京都府健康対策課へ提出してください)

お問い合わせ先 ● 京都府 健康対策課 TEL: 075-414-4738 FAX: 075-431-3970
mail: kentai@pref.kyoto.lg.jp

\ 詳しくはこちらから /

きょうと健康づくり実践企業



経済産業省「健康経営優良法人」認定制度のご案内

健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。



認定企業のメリット

「健康経営優良法人」に認定されると、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的な評価を受けられます。



経済産業省HP
「健康経営優良法人認定制度」

スポーツ庁「スポーツエールカンパニー」制度のご案内

スポーツ庁では、「働き盛り世代」のスポーツ実施を促進し、スポーツに対する社会的機運の醸成を図ることを目的として、従業員の健康増進のためにスポーツ活動の促進に積極的に取り組む企業を「スポーツエールカンパニー」として認定しています。

企業の取組を広く周知することで他企業への横展開を促し、ビジネスパーソンへのスポーツ実施率の向上を目指すとともに、従業員の健康管理を考え戦略的に取り組んでいる企業の社会的評価の向上を図ります。



認定企業のメリット

本認定制度は、ハローワーク(公共職業安定所)の求人票等(ハローワークインターネットサービス)に表示できるPRロゴマークに追加されています。これにより、従業員の健康増進のためにスポーツに関連した取り組みを行っている企業であることを更に広くPRできます。



スポーツ庁HP
「スポーツエールカンパニー」

健康経営[®]チャレンジプログラム

協会けんぽでは、事業所様と協会けんぽとのコラボによる従業員様の健康づくりをサポートしています。自社の実情に応じて、協会けんぽと一緒に健康度アップに向けてステップアップをしていきましょう！

「健康経営[®]」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です

1 健康保険委員への登録

まずは健康づくり担当者・健康保険事務担当者を“健康保険委員”に登録

登録すると…

- ・保健師等のプロによる健康講座
- ・事業所健康度カルテ^{*}（従業員の健診結果を集約し、グラフなどで見える化したツール）の提供
※35歳以上の健診受診者が10名以上の事業所を対象に提供
- ・制度案内や申請書の書き方をまとめた便利なガイドブック進呈
- ・WEB研修会のご案内

健康保険委員についてはこちらから



2 健康事業所宣言の実施

事業所内の健康づくりの方針を定め“健康宣言”として社内外へ周知

健康宣言をすると…

- ・健康宣言証の交付
- ・京都支部HPへの社名公表
- ・健康測定器レンタル
- ・健康宣言事例集の提供
- ・京都信用金庫の金利優遇

健康事業所宣言についてはこちらから



3 健康経営の実践

健康宣言をもとに、協会けんぽとのコラボ（下記の「協会けんぽサービスツール」を参考ください）による健康経営を実践

健康経営の実践により…

- ・従業員の満足度向上
- ・人材の確保、定着
- ・健康宣言事例集への掲載
- ・外部機関の認証制度取得によるPR効果

例 経済産業省等
「健康経営優良法人」



京都府
「きょうと健康づくり実践企業」



“健康経営が当たり前”

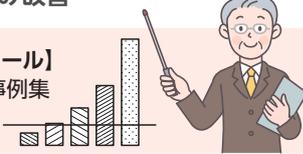
そんな会社を目指して、継続的に取り組むことができる体制づくりがポイントです

健康経営の

PDCA イメージ

Action 評価に基づき、次のPDCAに繋がる
取り組み改善

- 【協会けんぽサービスツール】
- ・健康事業所宣言取組事例集
 - ・健康経営セミナー



Plan まずは自社の健康課題を把握して、
無理のない目標を設定

- 【協会けんぽサービスツール】
- ・健康事業所宣言エントリーシート
 - ・事業所健康度カルテ
 - ・取り組みチェックシート



外部機関による認証制度の活用例

- ・健康経営優良法人（経済産業省等）
- ・きょうと健康づくり実践企業（京都府）



PDCAを回した健康経営の実践

協会けんぽ以外にも、外部機関のサポート・サービスを活用。

- ・健診実施機関
- ・労働局
- ・産業保健総合支援センター
- ・京都府
- ・自治体
- など

Check 取り組みの効果を経年で比較する等
により評価

- 【協会けんぽサービスツール】
- ・生活習慣病予防健診
 - ・事業所健康度カルテ
 - ・取り組みチェックシート（振り返り）



Do 事業所が主体となった健康づくりの
取り組みの実施

- 【協会けんぽサービスツール】
- ・健康講座
 - ・健康測定機器レンタル
※機器は毎年変更となる場合があります
 - ・メールマガジン配信（健康レシピなど）

